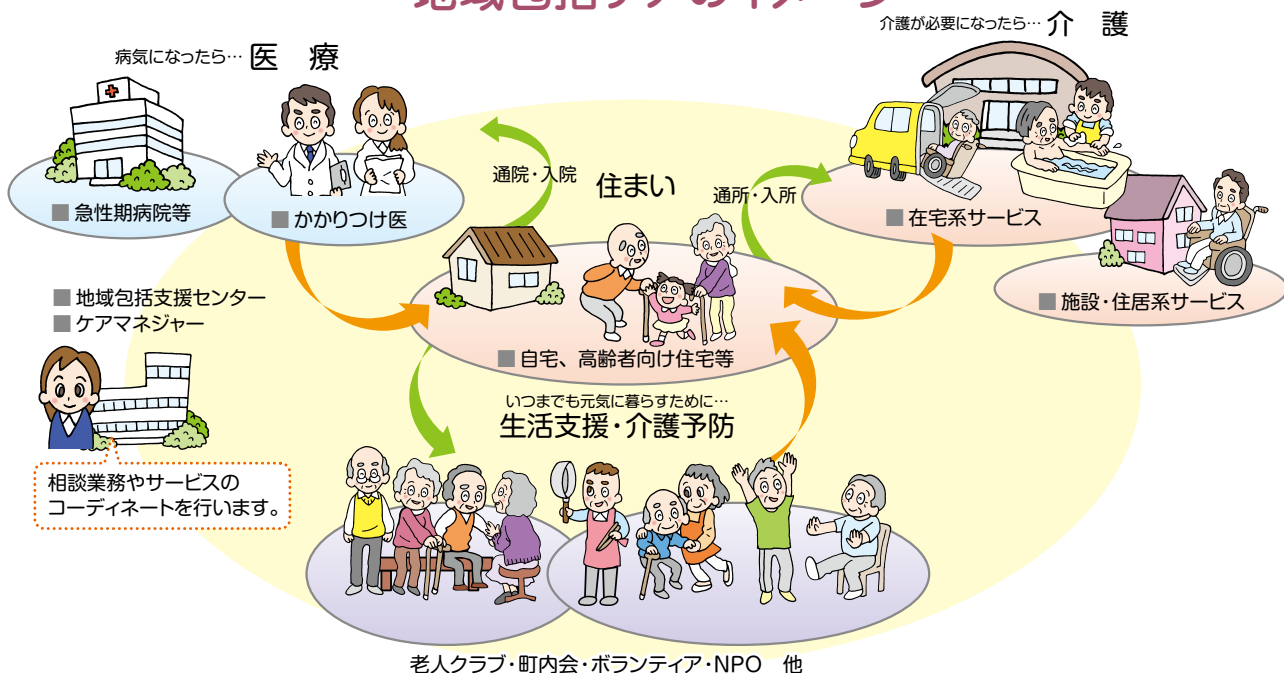


9 地域包括ケアの推進に向けて

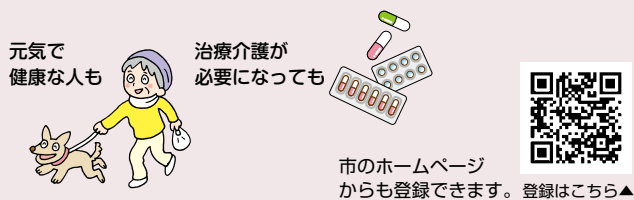
地域包括ケアのイメージ



「地域包括ケア」とは、高齢者が医療や介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域で自立した生活が続けられるように、医療・介護・住まい・生活支援・介護予防が包括的に提供される体制のことです。

知っておくと安心な役立つ情報があります 「フェニックスネット」

タブレットなどICTを活用した情報共有の仕組みです。あらかじめ登録しておくことで、もしもの救急搬送時に役立っています。また、治療・介護が必要になっても、利用者(患者)を支える関係者が情報を共有することで、適切な治療やケアに役立っています。登録手続きは、市窓口(アオーレ長岡、各支所など)で行っています。ぜひ登録ください。



「認知症あんしんガイドブック」 (認知症ケアパス)

認知症ケアパスは、認知症の方やご家族が、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるための支援の流れをまとめたものです。認知症は誰にでも起こりうる脳の病気ですが、発症してもすべてが分からなくなるわけではありません。それぞれの状態に応じて適切な支援を受けることで、安心して生活続けることができます。



「ツカオーレ!生活助かるブック」

ツカオーレ!生活助かるブック(長岡市高齢者のための生活支援サービス集)は、介護保険サービス以外の高齢者向け生活支援サービスをまとめた冊子です。主に家族や介護関係者など支援者向けに作成しています。日常生活でのさまざまな困りごとの解決にぜひご活用ください。



詳しくはこちら▲



「わたしの希望のおぼえ書き」

「わたしの希望のおぼえ書き(ACP:人生会議)」を活用してみませんか? アドバンス・ケア・プランニング(ACP:人生会議)は、将来の医療や介護について元気なうちから考え、家族や医療・介護の関係者と話し合い共有する取り組みです。自分の意思が伝えられなくなる前に、大切な人と話し合ってみましょう。



詳しくはこちら▲

